

令和2年度学校評価考察

保護者アンケートの昨年度との比較から

- ほぼすべての項目で、AやBの肯定的な評価が多数を占めており、今年度の学校運営について一定の評価を得られ、ありがたく感じています。
- 評価の傾向としては、おおむね昨年度と同様でした。
- 1・3・4・8の項目の評価が高いことから、保護者の方は、多くの子どもは学校生活を良好に過ごしており、心身ともに健全に育ってきていると感じていることが分かります。
- 21・22の項目の評価が高いこと、また24の項目は評価が低いものの昨年度より向上していることから、保護者の方は、規則正しい生活習慣を身に付けさせようと意識していることが分かります。ただ、同時に習慣化できているところまでは至っていないとも感じているようです。
- 14の項目の評価が向上しており、学校で行われているノート指導、家庭学習への啓発、3年生の放課後学習サポート事業の取組が、一定の評価を得られていることが分かります。
- 18の項目の評価が向上していることから、今年度リニューアルした学校ホームページへの関心が高まり、コロナ禍の中、学校を訪れることが少なくなった保護者の方からすると、貴重な情報源になっていると感じられます。
- 多くの項目で、昨年度より平均点は下がっています。新型コロナウイルス感染症の影響で、臨時休業や分散登校があり、多くの学校行事も中止となり、また参観日も回数が減り分散で行うなど、保護者の方が学校の様子をじかに知る機会がたいへん少なかったことが、学校生活の見方への不安となり、評価へ影響したものではないかと考えられます。
- 5・24の項目は、引き続き評価が低いです。コロナ禍の影響で、読書ボランティアに来ていただく朝読書の活動が2学期にずれ込み、読書をする習慣化が十分に行えなかったことが、この評価となったものと思われます。「ノーゲーム・ノーテレビ」の啓発は続けていますが、いっそう保護者の方や児童に分かりやすい形での啓発活動を工夫し、そこでできた時間で読書を行うことにより、心豊かな帯江っ子を育てていきたいと思えます。
- 12の項目も評価がかなり低いです。ICT機器はどのクラスでも活用していますが、それを見ていただく機会が少なかったことが影響しているのかもしれませんが、今後、GIGAスクール構想により、一人1台のパソコンを活用した学習を行うようになっていきますので、子どもたちのICT活用能力、情報活用能力をいっそう高めていきたいと思えます。
- 13の項目が低くなっています。本年度SNSをめぐるトラブルが何件かありました。いじめは絶対に許されないものであるとの考えのもと、インターネットの利用の仕方についても、子どもたちにしっかり指導していきたいと思えます。ご家庭でもお子様とルール作りをするなど、お話し合いください。